

関連学協会情報

関連学協会情報

①主催, ②共催, ③協賛, ④後援, ⑤期日, ⑥場所, ⑦定員, ⑧参加費, ⑨テキスト代, ⑩見学会, ⑪懇親会, ⑫申込期限, ⑬申込先, ⑭問合せ先, ⑮プログラム, ⑯内容, ⑰対象者, ⑱講師, ⑲その他

研究講演会『流動層における混相流動』——混相流の応用技術とシミュレーション——

- ①スラリー輸送研究会
- ②資源・素材学会関東支部
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 11 月 4 日(水)
13:00~17:00
- ⑥住友金属工業(株) 本社会議室(大手センタービル 13 階)
- ⑦70 名
- ⑧会員 5,000 円, 非会員 8,000 円
- ⑫平成 4 年 10 月 20 日
- ⑬資源・素材学会内スラリー輸送研究会事務局
〒107 東京都港区赤坂 9-6-41
TEL(03)3402-0541 FAX(03)3403-1776
- ⑭スラリー輸送研究会 企画部会
日立製作所土浦工場 神野幸重
〒305 茨城県土浦市神立町
TEL(0298)31-5111(内)2454
FAX(0298)31-8539
スラリー輸送研究会 広報部会
通産省工業技術院 資源環境技術総合研究所 斎藤隆之
〒305 つくば市小野川 16-3
TEL(0298)58-8522 FAX(0298)58-8508

**原子力分野における新材料の開発と接合・加工技術に関する国内シンポジウム
(第 12 回国内シンポジウム)**

- ①日本溶接協会
- ④日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 11 月 6 日(金)9:30~17:00
- ⑥大阪科学技術センター
- ⑦90 名
- ⑧10,000 円
- ⑫平成 4 年 11 月 2 日(月)
- ⑬〒101 東京都千代田区神田佐久間町 1-11 産報佐久間ビル 9F
(社)日本溶接協会
TEL(03)3257-1521 FAX(03)3255-5196

シンポジウム『地球と鉄』

- ④日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 11 月 7 日(土), 8 日(日)
- ⑥コンベンションホール「木の国文化館」
- ⑦250 人
- ⑭〒690-28 鳥根県飯石郡吉田村大字吉田村 892-1
(財)鉄の歴史村地域振興事業団 シンポジウム『地球と鉄』実行委員会事務局
TEL(0854)74-0311 FAX(0854)74-0600

**第 11 回グループ研究成果発表会
Al 合金における水素の挙動に関する研究**

- ①軽金属奨学会
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 11 月 10 日(火)
- ⑥如水会館
- ⑧無料
- ⑫11 月 5 日
- ⑬〒541 大阪府中央区久太郎町 3-6-8 (御堂筋ダイワビル)
東洋アルミニウム株式会社 気付
(財)軽金属奨学会
TEL(06)271-3151 FAX(06)271-9655

**第 147 回塑性加工シンポジウム
AI, ニューラルネット, ファジィの応用**

- ②日本塑性加工学会, 日本機械学会
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 11 月 13 日(金)
- ⑥東京大学生産技術研究所第一会議室
- ⑦100 名
- ⑧会員 8,000 円, 学生 4,000 円, 一般 12,000 円
- ⑬日本塑性加工学会
〒106 東京都港区六本木 5-2-5
トリカッビル 3 階
TEL(03)3402-0849 FAX(03)3402-0965

最近のステンレス鋼溶接施工技術の実際とその応用に関する講習会

- ①日本溶接協会
- ④日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 11 月 13 日(金)
- ⑥(神戸)センタープラザビル
- ⑦100 名
- ⑧20,000 円(メンバー特典あり)
含むテキスト代
- ⑬〒101 東京都千代田区神田佐久間町

- 1-11 (産報佐久間ビル)
(社)日本溶接協会
TEL(03)3257-1521 FAX(03)3255-5196

第 50 回表面技術アカデミック研究会討論会 テーマ/腐食研究の課題と In Situ 測定への期待

- ①表面技術協会
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 11 月 27 日(金)
- ⑥東京大学生産技術研究所 [東京都港区六本木 7-22-1]
TEL(03)3402-6231
- ⑦100 名
- ⑧会員(協賛団体会員)5,000 円, 学生 3,000 円, 一般 7,000 円
- ⑬表面技術協会
〒101 東京都千代田区神田岩本町 2 共同ビル TEL(03)3252-3286(代)
FAX(03)3252-3288

'92 CIM 革新総合会議

- ①日本能率協会
- ④日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 12 月 1 日(火)~4 日(金)
- ⑥虎の門パストラル 4F
- ⑭〒105 東京都港区芝公園 3-1-22 (社)日本能率協会 公開教育事業本部 CIM 革新総合会議事務局
TEL(03)3434-1373 FAX(03)3434-6387

第 9 回混相流レクチャーシリーズ

氷蓄熱システムの混相流

- ①日本混相流学会
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 12 月 2 日(水), 3 日(木)
- ⑥大阪市立大学文化交流センター(大阪駅前第 3 ビル 16 階)
- ⑧会員 20,000 円, 会員外 30,000 円, 学生 5,000 円
- ⑫11 月 24 日(火)
- ⑬〒659 芦屋市公光町 9-7-202(株)学術出版印刷内 日本混相流学会
TEL(0797)38-3390
FAX(0797)38-3351
- ⑭〒558 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学工学部機械工学科 東 恒雄
TEL(06)605-2666 FAX(06)605-2769
〒564 吹田市山手町 3-3-35 関西大学工学部機械システム工学科 大場謙吉
TEL(06)388-1121(内)5793

FAX(06)388-8785 330-3770

第 29 回 X 線材料強度に関する討論会 企業における X 線回折技術の活用

- ①日本材料学会
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 12 月 3 日(木)
10:00~17:00
- ⑥川崎製鉄(株)本社(日比谷国際ビル 30 階 A 会議室(受付 20 階))
- ⑧会員 5,000 円, 学生会員 3,000 円, 非会員 7,000 円, 学生非会員 5,000 円
- ⑫11 月 25 日(水)
- ⑬〒606 京都市左京区吉田泉殿町 1-101 日本材料学会

日本金属学会分科会シンポジウム(第一総合分科)核物性研究手法による材料研究の問題点

- ①日本金属学会
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 12 月 4 日(金)
10:00~17:35
- ⑥大阪大学基礎工学部 Σ ホール
- ⑧正員 3,000 円, 学生会員 1,000 円, 非会員 7,000 円

⑬〒980 仙台市青葉区荒巻字青葉
日本金属学会 TEL(022)223-3685

第 148 回塑性加工シンポジウム 鋼および非鉄金属材料の熱間・冷間圧延潤滑技術の最近の動向

- ②日本塑性加工学会, 日本機械学会
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 12 月 9 日(水)9:40~16:50
- ⑥東京大学山上会館
- ⑦100 名(定員になり次第締切)
- ⑧会員 8,000 円, 学生 4,000 円, 一般 12,000 円
- ⑬日本塑性加工学会
〒106 東京都港区六本木 5-2-5
トリカッビル 3 階

TEL(03)3402-0849 FAX(03)3402-0965
学術講演会・本多光太郎記念講演会

- ②日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 12 月 12 日(土)
9:00~17:15
- ⑥福井工業大学 2 号館
[福井市学園 3-6-1]TEL(0776)22-8111
(JR 福井駅前より京福バスにて約 10 分「金井学園前」下車)
- 1.学術講演会(9:00~17:15)
- 2.本多光太郎記念講演会

(13:15~14:00)
高速増殖原型炉「もんじゅ」について
動力炉・核燃料開発事業団高速増殖炉もんじゅ建設所担当役 柚原俊一
3.懇親会(会場;福井駅前「金井会館」,
17:30~19:30)会費 3,000 円, 当日受付
⑫11 月 6 日(金)
⑬〒910 福井市学園 3-6-1
福井工業大学機械工学科内
支部講演会実行委員会
TEL(0776)22-8111 FAX(0776)22-8117
斎藤喜一(内)608 北山誠二(内)502
羽木秀樹(内)607

第 7 回「大学と科学」公開シンポジウム『21 世紀の期待をになう超伝導』

- ①第 7 回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会
- ④日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 5 年 1 月 28 日(木), 29 日(金)
- ⑥経団連ホール[千代田区大手町 1-9-4]
- ⑬第 7 回「大学と科学」公開シンポジウム『21 世紀の期待をになう超伝導』事務局
〒102 東京都千代田区富士見 2-3-1
信幸ビル クバプロ内
TEL(03)3238-1689 FAX(03)3238-1837

ブックレビュー

**●セラミック合成入門● 岩崎 弘通, 金子 泰成共著 1992 年 2 月
(株)アグネ技術センター発行(Tel 03-3409-5329)
A5 判 156 頁, 定価(税込) 2,060 円**

近年, ファインセラミックスが注目を集めているが, 本書では, その原料であるセラミック粉末の合成法を易しく解説している. その基となっているのは立命館大学理工学部化学科無機材料化学研究室において行われた練習実験や研究成果をまとめたものである.

まず, 実験室的な合成例として, アルミナ, チタニア, ジルコニア, 窒化アルミ, 六方晶窒化ほう素, および窒化チタンの通常の製法について説明している. つぎに, 新しい合成法として, 電気絶縁性の液体中で二つの金属電極間の火花放電でセラミック粉体を合成するというスパーク法について説明している. この方法によれば, 安定相ばかりでなく準安定相を含む多様性のある粉体を得られる可能性のあること, 得られた粉体から容易にウイスキーの得られること等が示されている. ユニークなのは天然有機物からのセラミック合成法である. これは穀物中の非晶質シリカや, 米ぬか中のリン成分を利用するもの, および天然有機物の持つ特性の一つである金属イオンとイオン交換性をもつアルギン酸ナトリウムを利用したセラミック繊維の合成等である. これらは天然廃棄物の利用という点でも価値がある. また, その合成法は無機化学者には全く新しい手法であり, 注目に値する. 最後に, セラミック合成法に関する基礎的事項や, 粉末の解析法に関する簡単な紹介が載せてある.

全体に記述が平易であり, ここに書かれた順を追っていくと, 目的のセラミックができるように書かれている. 試しに何かセラミック材料を作って見ようという時には非常に良い手引き書である. また, セラミックスに関する基礎事項も随所に見られ, 参考文献も多く示されており, 肩の凝らない入門書として良く出来た本である.
(豊橋技術科学大学 川上正博)